

実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

2009年12月1日発行

第15号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 山本国臣

編集 議会広報編集委員会



みごとな枝ぶり!!

第4回中央市文化祭(玉穂総合会館)

20年度決算認定

■ 9月定例会で決まったこと	2～5
■ 市長の行政報告	6
■ 代表質問に4会派	7～10
■ 一般質問に2議員	11～12
■ 委員会レポート	13～15
■ 市民の談話室・編集後記	16

20年度決算を認定

平成二十一年中央市議会第三
回定例会は、九月八日、二十九
日までの二二日間の日程で開催
され、平成二十年度一般会計、
特別会計および企業会計併せて
十三件の決算認定をはじめ、条
例改正五件、補正予算十件、請

願一件が提案されました。
決算認定を除く案件について
は、総務教育、厚生、産業土木
の各常任委員会に付託され審議
されました。
なお、今回の定例会では、初
の試みとして、これまで各常任

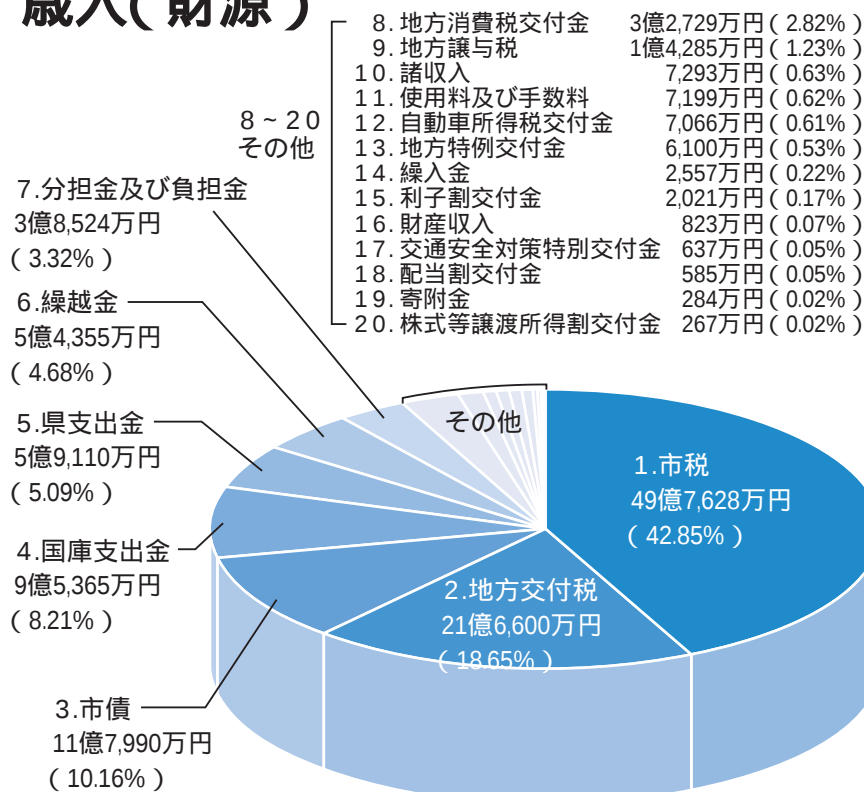
委員会に付託し審議していた決
算認定を、議員全員による決算
特別委員会での審議を本会議場
において二日間にわたり実施し
ました。
また、昨年度から公表される
こととなった地方公共団体の財

政状況の判断基準となる、健全
化判断比率および資金不足比率
が報告されました。
代表質問には四会派の代表が、
一般質問には二人の議員が登壇
し、市政の諸問題について質問
をしました。
最終日の本会議には、各常任
委員会および決算特別委員会か
ら、その審議結果の報告が行わ
れ、提案された全ての案件を可
決しました。

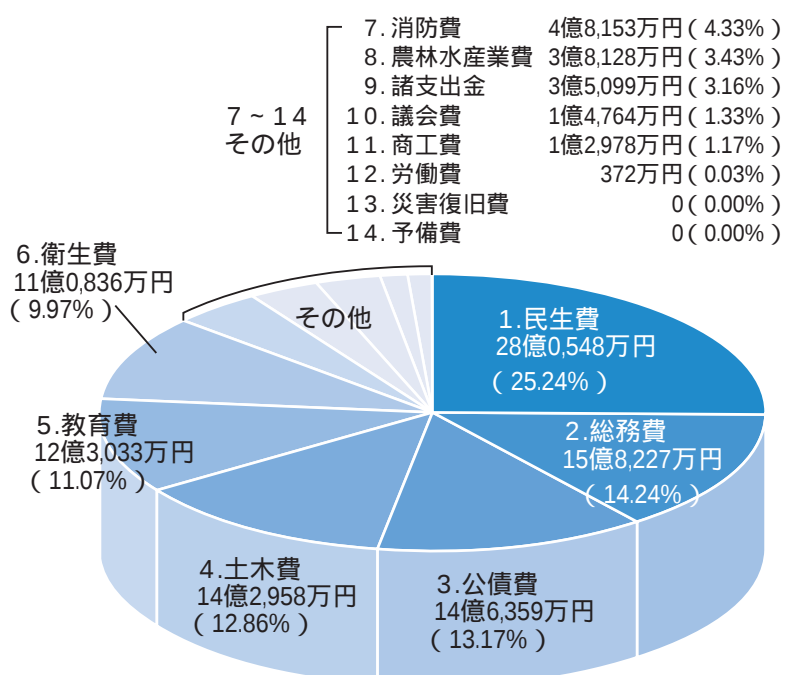
一般会計

歳入 116億1,424万円
歳出 111億1,455万円
差引 4億9,969万円

歳入(財源)



歳出(使いみち)



(1万円未満は四捨五入しています。)

一般会計

市の借金と貯金の状況は

市債の現在額

132億4,258万円

基金の現在額

27億9,907万円

特別会計

(1万円未満は四捨五入しています)

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
国民健康保険会計	25億1,032万円	24億9,246万円	1,786万円
老人保健会計	1億7,685万円	1億7,318万円	367万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,010万円	1億6,929万円	81万円
介護保険会計	13億0,592万円	12億8,021万円	2,571万円
地域包括支援センター会計	2,975万円	2,975万円	0
簡易水道事業会計	2億9,080万円	2億8,790万円	290万円
下水道事業会計	16億0,581万円	15億5,525万円	5,056万円
農業集落排水事業会計	3億2,350万円	3億1,309万円	1,041万円
田富よし原処理センター事業会計	5,149万円	4,641万円	508万円
土地区画整理事業会計	7億3,409万円	6億6,056万円	7,353万円
工業用地整備事業特別会計	2,067万円	2,067万円	0

議会用語解説

特別会計って？

特定の収入で特定の事業を行なうなど、一般会計の歳入・歳出と区分されるもので、中央市では左表のような特別会計が設置されており、原則として独立採算制で経理管理が行なわれています。

21年度一般会計補正予算

・補正額 八億九、〇〇〇万円 ・予算総額 二二〇億四、八九三万円 (主な支出) ■総務費 ・低公害車両購入事業 二、三〇〇万円 ・防犯街路灯省電力化事業 六〇四万円 ・住民税、法人税、固定資産税等の還付金 二、七五五万円 ■民生費 ・保育園施設環境改善事業および児童館施設環境改善事業 二、九四〇万円	【一般会計】(第2号) ・給事業 二、〇二七万円 ・子育て応援特別手当 三、五三四万円 ■衛生費 ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金 三五〇万円 ■労働費 ・国保収納率向上対策事業、小学校支援学級支援強化事業等の「緊急雇用創設事業」ほか 一、〇七三万円 ■農林水産業費 ・「農地有効利用支援整備事業」の五事業 二、九四〇万円
---	--

上水道事業会計決算

収益的収入	3億5,905万円
収益的支出	3億3,619万円
資本的収入	2億3,590万円
資本的支出	3億1,859万円

特別会計

市の借金と貯金の状況は

市債の現在額

142億8,703万円

基金の現在額

5億2,608万円

条例改正

■土木費 ・JR東花輪駅前駐輪場建設用地取得代等 五、九七〇万円 ・準用河川清川改修事業 六、九三〇万円 ■都市計画費 ・下水道事業特別会計繰出金 四、三〇〇万円 ■消防費 ・消防指令車購入 三八四万円	・国民健康保険条例の改正 - 健康保険法等の一部改正に伴い、出産育児一時金の額が改正されたため、国民健康保険条例の一部を改正するもの。 ・老人医療費助成金支給条例の改正 - 子ども医療費助成金支給条例の改正 - 高額医療・高額介護合算療養費制度の開始に伴い、条例の一部を改正するもの。 ・重度心身障害者医療費助成条例の改正 - ひとり親家庭医療費助成金支給条例の改正 - 平成二十一年四月一日から子ども医療費助成金の支給年齢引き上げに伴い、重度心身障害者および、ひとり親家庭の児童の入院時食事療養費の支給対象年齢を引き上げるため、また、高額医療・高額介護合算療養費制度の開始に伴い、その療養費を助成金から控除する必要が生じ、それぞれの条例の一部を改正するもの。
---	---

21年度特別会計補正予算

▼国保会計 (第1号) 補正額 二五四万円 予算総額 二四億九、三七九万円 ▼老人保健会計 (第1号) 補正額 八四万円 予算総額 三五四万円 ▼後期高齢者医療会計 (第1号) 補正額 一四二万円 予算総額 一億七、二六〇万円 ▼介護保険会計 (第2号) 補正額 一三七万円 予算総額 一三億八、一六〇万円 ▼簡易水道事業会計 (第2号) 補正額 九九九万円 予算総額 二億三、九六五万円 ▼下水道事業特別会計 (第2号) 補正額 一億五、九九〇万円 予算総額 二億二、六五一万円 予算総額 一九億一、二三〇万円	▼農業集落排水事業特別会計 (第2号) 補正額 三三六万円 予算総額 三億二、九〇五万円 ▼土地区画整理事業特別会計 (第2号) 補正額 一一一万円 予算総額 二億八、六五九万円 ▼上水道事業会計 (第2号) 補正額 三、三三〇万円 予算総額 三億四、二〇五万円 【収益的収入】 補正額 三、三三〇万円 【収益的支出】 補正額 三、三三〇万円 【資本的支出】 補正額 四五〇万円 予算総額 一億五、九九〇万円
--	---

決算認定

- ・一般会計
- ・国保会計
- ・老人保健特別会計
- ・後期高齢者医療会計

- ・介護保険特別会計
- ・地域包括支援センター特別会計
- ・簡易水道事業特別会計
- ・下水道事業特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・田富よし原処理センタ―事業特別会計
- ・土地区画整理事業特別会計
- ・工業用地整備事業特別会計
- ・上水道事業会計

請願

以上、一三会計の歳入歳出決算を認定しました。

核兵器廃絶の課題で日本政府に対し、唯一の被爆国として具体的努力を求める意見書の採択を求める請願

請願者 高橋 健
立川善之助
小林 正巳
関 敦隆

紹介議員

中央市議会が核兵器廃絶の課題で日本政府に対し、唯一の被爆国として具体的努力を求める意見書提出を求める請願

意見書

核兵器廃絶の課題で日本政府に対し、唯一の被爆国として具体的努力を求める意見書
請願と同趣旨

報告

・健全化判断比率の報告
・資金不足比率の報告
・地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、監査委員の意見書を付して報告するもの。

お気軽に傍聴においでください。

8日(火)	午前10時	開会
10日(木)	午前10時	一般質問
11日(金)	午前10時	一般質問
14日(月)	午前9時30分	総務教育常任委員会
15日(火)	午前9時30分	厚生常任委員会
16日(水)	午前9時30分	産業土木常任委員会
18日(金)	午前10時	閉会

日程等は変更される場合があります。ご了承ください。

12月議会予定

●議会の動き●

8月		2日	子どもクラブ球技大会	9日	田富中学園祭
4日	議会広報編集委員会	10日	代表質問		
6日	議会運営委員会	11日	一般質問		
6日	リニア中央新幹線甲府圏域促進協議会	11日	議員協議会		
6日	代表者会議	12日	玉穂中学園祭		
11日	山梨県市議会議長会	12日	田富南小運動会		
11日	議員合同研修会	14日	総務教育常任委員会		
12日	議員改革推進委員会	15日	厚生常任委員会		
12日	牧之原市・御前崎市地震災害見舞い	15日	三郡衛生組合議運		
14日	与一公まつり	16日	市民球技大会開会式		
19日	中央市・昭和町・甲斐市議会正副議長・事務局会議	17日	産業土木常任委員会		
20日	中央市教育振興大会	18日	決算特別委員会		
21日	新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会	19日	市内小学校運動会		
9月		24日	(田富南小除く)決算特別委員会		
1日	議会運営委員会	28日	中巨摩広域議会		
1日	代表者会議	29日	第3回定例会閉会		
1日	議員改革推進委員会				
5日	浅利与一義成公顕彰式典				
5日	与一公弓道大会				
7日	中巨摩広域議会議運				
8日	防災訓練				
8日	第3回定例会開会				
10月		3日	三郡衛生組合議会		
1日	議会広報編集委員会	15日	山梨県市議会議長会		
1日	ふれあい福祉運動会	18日	定期総会		
19日	議会広報編集委員会	21日	山梨県後期高齢者医療広域連合議会		
21日	山梨県後期高齢者医療広域連合議会	28日	笛南中学校組合議会		
28日	東八代広域行政事務組合第2回定例会				

監査委員の決算審査意見

要旨

代表監査委員

樋口 達哉

監査委員

長田 温雄

一瀬 満

一般会計・特別会計

(審査の期間)

七月二十二日(水) から

二十七日(月) まで

(審査の結果)

各会計決算は、関係法令に準拠し適正に作成され、計数も正確であると認められた。また、基金の運用状況も妥当であると認める。

(意見と指摘事項)

1、長引く景気低迷で、市の行財政運営は極めて厳しい状況に直面する一方、今後想定される少子・高齢化社会に対応する子育て支援、経済情勢の悪化に起因する生活保護申請の急増等に対処する福祉施策や、ライフラインの維持、拡充等の生活関連社会資本の整備、さらには、将来に備えるべき自主財源の確保等の

財政需要はますます増大する。

本市では、このような財政の中、情報化に対応した方法での公開等、周知方法の一層の改善を図る必要がある。経常経費や実質公債比率も年々増加傾向にあり危険区域に近づきつつあり、将来を見すえ事務事業の見直し、公債費の増加の抑制、財源の確保、適正な基金の長期運用計画など歳入・歳出両面で効率的で持続可能な財政状況の確保に努めることが重要である。

合計十一会計となった。

3、歳入では、平成二十年決算時点で、一般会計全体の収入未済額が、約五億四、二〇〇万円あり、税や料金の公平負担の観点から、市の広報、ホームページ等を通じ、納税者に徹底した意識改革を呼びかけ、滞納整理、滞納処分(差押、差押換価)等の徴収努力で、収納課と各現課が連携し、一層の徴収努力をお願いする。

4、歳出では、平成二十年に策定された中央市行財政改革大綱に基づき、公営企業の抜本的な経営見直しも含めたスリムで透明性の高い行財政運営で、本市のまちづくりの基本理念である「実り豊かな生活文化都市」の実現に向け努力されることを望む。

上水道事業会計

(審査の期間)

七月二十三日(木)

(審査の結果)

決算諸表は、企業会計の原則に従って整備され、経営成績・財政の実態が定められた要領に基づき明瞭正確に作成され、計数は正確で内容も正当なものとして認められる。

(審査の意見・指摘事項)

住民への上水道の安定供給と経費の節減を図り、未収金の資産計上をより適正に評価し、財政の健全化と合理的・効率的な企業会計運営に努められたい。

財政健全化 審査意見

(審査の期間)

八月二十六日(水)

(審査の対象)

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率並びに算定の基礎となる事項を記載した書類。

(審査の意見)

一、総合意見

審査に付された健全化判断比率および算定の基礎となる書類は、適正に作成されていると認める。

二、個別意見

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率ともに、法の定める早期健全化基準を下回っており、特に指摘すべき事項はない。

資金不足比率 審査意見

(審査の期間)

八月二十六日(水)

(審査の対象)

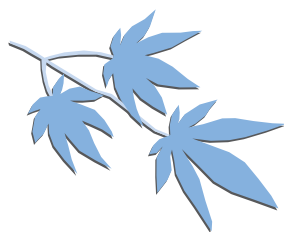
資金不足比率および算定の基礎となる事項を記載した書類

(審査の結果)

一、総合意見

資金不足比率および算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されている。

二、全ての会計において、早期健全化比率基準の二〇%を下回っている。



20年度 中央市の財政健全化比率の状況

	中央市	早期健全化比率
実質赤字比率	—	13.78%
連結実質赤字比率	—	18.78%
実質公債費比率	16.60%	25.00%
将来負担比率	113.00%	350.00%

各基準とも健全化基準を下回っており財政は健全な状態となっています。

9月 定例会

代表質問

4 会派が登壇

九月定例会では四人の会派代表者が質問に立ち、十三項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。詳細は市ホームページの議会会議録をご覧ください。

政権交代が実現 政策、予算情報を収集し 市政運営に的確に反映

9月定例会

田中市長の行政報告

1 デジタル化した 防災行政無線

八月十一日の震度四の地震発生時に「全国瞬時警報システム」が作動し、田富・豊富地区の防災無線から緊急地震情報が発送されました。玉穂地区のデジタル化統合工事を急ぎ、緊急時の正確な情報伝達に努めます。

2 新型インフル エンザ対策

全国的に夏休みころから急激に感染が拡大、秋冬に向け感染者が出ることは避けられません。感染対策の徹底と予防に努めてください。

3 高部工業用地 整備事業

新設道路の整備を行い、今年度末に工事が終了する計画です。工業用地の販売促進PRを行い、企業誘致に向け積極的に販売努力していきます。



建設工事が進む
豊富小学校屋内運動場

4 コミュニティー バス運行状況

来年三月までの平日、関原の豊富バス停から医大付属病院経由・田富北保育園バス停まで十便を運行。通勤・通学・買い物など、市民の足として定着するよう、利便性の向上を図っていきます。

5 豊富小学校屋内 運動場改築工事

七月に本体工事の起工式を行い、建設に着手。工期の来年二月末まで、事故なく完成するように努め、学校施設の充実・生涯スポーツの推進に努力していきます。

6 中学生の 海外研修

海外語学研修団として中学生ら十六人が、十三日間の日程でオーストラリア・ケアンズ市へ、中



海外語学研修団(オーストラリア・ケアンズ市内)

学生日中友好訪中団十三人が七日間の日程で、四日川省都江堰中学校等へ行ってきました。体験を通して、豊かな国際感覚を身につけることを期待します。

東花輪駅前整備事業を問う

友和会



福田清美 議員

福田議員 中央市の玄関口である駅周辺の整備は急務だ。駐輪場用地確保の進捗状況と、周辺整備の見通しは。市道玉穂大津線を結ぶ道路拡幅と、駅前周辺のまちづくりは。



利用者の送迎等で渋滞するＪＲ東花輪駅前

西花輪交差点周辺の歩道設置と、県道拡幅の見通しは。

安全なまちを目指す

市長 駐輪場は地権者の了承を得た。駅前整備は、県の清川改修事業・歩道設置事業と調整を図り、二十三年度に施工の予定。拡幅と歩道の設置を検討し、コミュニティバスなど公共交通機関の利便性の向上、安心で安全な暮らしの拠点づくりを進めたい。

西花輪交差点は、県が双方向への右折レーンと歩道設置を計画している。二十二年秋から用地交渉の予定。

医大南部土地区画整理事業は

問 事業期間が残り一年半となった。今後の取り組みについて何う。事業の進捗状況と宅地利用促進の達成率は。保留地分譲の現状と今後の取り組みは。保留地が売れ残った場合の対応策は。

完売に向け努める

市長 今年度末に工事が完了し、二十二年度に換地処分等の全事業が完了の予定。公共用地を除く三一・九ヘクタールのうち、二ヘクタールが未完成。宅地利用は一八・一ヘクタールで達成率は六〇・四％。十七年度の第一次から今年七月の第六次分譲までスパー街区の八区画を含め、一〇一区画を販売。現在、六七区画を売却、一三億五、九四二万円で

残り三四区画、四億八、四二万円。処分率は六六・三％。見学会の開催、ハウスメーカーへの紹介、ロックタウンへの保留地情報板の設置、新聞広告など告知・宣伝に努める。七月には山梨県宅地建物取引業協会と保留地処分の媒介協定を締結、完売に向け取り組んでいく。PR等を積極的に進めて販売に努め、市のリスクを最小限にしたい。

農業振興について

問 農産物の特産品確立に向けての支援策として三地区（田富・玉穂・豊富）ごとの特色ある農家の取り組みは。施設園芸農家及び果樹農家に対する支援策は。担い手、後継者確保と育成対策は。通年型グリーンツーリズムを可能にする、地域の受け皿づくりは。

地域性を考慮し対応する

市長 合併後の三年間で米関係一七、野菜関係九法人団体八、施設園芸三



親子でダイコンの種まき
（親子ふれあい農村体験事業・豊富地区）

農地保全八事業に主たる支援を行った。利子補給や農業者育成資金融資等、側面支援事業を含めると更に多面的な支援を講じたことになる。

施設園芸農家へは、原油高騰緊急支援等、国・県事業と連携し、今後支援策を検討する。本年度からJA笛吹と協議し、果樹農家への持続的支援を検討している。

田富、玉穂地区は、農業法人での研修制度を充実させる。豊富地区は、高齢化による規模縮小や離農への対策、中山間地、

傾斜地への対策に努める。道の駅とよみを拠点に、春には周辺の圃場での野菜収穫体験、とうもろこしのもぎ取り、桃の味覚まつり、なす狩り、いちご狩りなど年間を通して、体験型観光の事業を展開している。滞在型市民農園子ども農村プロジェクト事業の受け皿づくりの構築にも取り組む。首都圏から一時間三〇分の交通の利便性を活かして、集客・リピーターの増加につなげるよう、積極的にPRに努めたい。

市財政を問う

中央・市民クラブ



小池 満 男 議員

小池議員 本年度の普通交付税と臨時財政対策債の内訳、前年度と比べての増減は。

財政力指数が前年より後退しているが、主たる要因は。

景気の低迷が影響

市長 普通交付税は、二十年度が一七億六、四九三万円、二十一年度は二〇億二、九七九万円、前年度比一・一五倍。臨時財政対策債は、二十年度が四億八三九万円、二十一年度は六億三、三八四万円、一・五五倍。財政力指数が前年より一・〇三二後退している。長引く景気低迷、企業撤退等による固定資産税、法人市民税の落ち込み、個

人所得の減少による個人市民税の減が大きく影響した。

教育の充実は

問 文科省のスクール二ユーディーールに対応しての四項目等を問う。
学校の耐震化は。
学校のエコ化の推進は。
学校のICT化の推進は。
公立中学校武道館の整備は。
通学路の防犯灯の設置は。
新型インフルエンザ対策は。



豊富小学校に整備されているパソコン教室

今年度、小学校の耐震化が完了

市長 改修中の豊富小体育館で、市内の学校の耐震化は完了する。

補正予算で太陽光発電事業を三小学校に予定している。

全八校への電子黒板の導入、二校へパソコンの導入を予定している。

唯一施設がない田富中学校の武道場整備に向け取り組んでいる。

要望があつた二五件すべての防犯灯の設置を完了した。

教育長 市内の学校でも二名の患者が報告されたが、現在、完治している。

二学期が始まる前に予防対策を各校に徹底し、集団発生時の対策も確認した。

防災マップの作成は

問 市には水防マップはあるが、一般的な防災マップを作成すべきだ。
宇坪川、浅利川の水防対策は。



保健師や地元消防団の指導のもと、AEDの使用方法的の講習（大鳥居川東地区）

避難マニュアルを

全世帯に配付

市長 二十一年度中に、地震を中心とした防災避難マニュアルを作成し、全世帯に配付したい。防災マップの作成も今後検討する。

宇坪川の改修は、県へ補助事業を申請を重ねて行つた。浅利川については、高部排水機場の稼働で安全性は確保されていると考えている。

優良建設業者の

表彰について

問 表彰の趣旨と審査の基準について伺う。

施工技術の向上を図る

市長 模範となる優れた施工業者の顕彰により、施工技術の向上を図ることを目的に、二十一年三月に施行した。市の成績評定要領で、八五点以上を対象としている。

コミュニティバスの運行は

問 利用者数等についての告知は。

バス実証運行への国の補助は。

民間の交通機関への市の補助金は。

七月から

実証運行を開始

市長 利用状況については、何らかの方法で報告したい。

二十一年度から三年間、二分の一が交付される。今年度は四七四万円を見込んでいます。

二十年度、山梨交通の七路線に二〇〇万円、山梨タウンコーチに三六万円、山梨交通観光バスに五〇六万円を支出した。

薬物乱用防止キャラバンカー の活用を

公明党



議員 愛子 楽 設

設楽議員 青少年の健全育成のため、薬物の恐ろしさを視聴できるキャラバンカーの活用を図れないか。市内の学校で、大切な子どもたちを守り、犠牲者を出さないために活用してほしい。

学校等に紹介する

教育長 市の学校での乱用事例は報告されていないが、油断することなく指導していきたい。キャラバンカーには専門指導員もついてくるが、必要に応じて活用できるように学校等に紹介したい。

介護給付の適正化と新制度の告知は

問 中央市の給付通知は、どのようにしているのか。
国保連合会の請求から、市町村が給付費を振込むまで十日ほどしかない。内容確認もされないまま、巨額の給付費が支払われる。

ている。利用者が安心して介護サービスを受け、適正な支払いがなされるよう、介護サービスのモニタリングシステムの導入を提案する。介護サービス費適正化事業として国の補助対象にもなっている。
高額医療、高額介護合算制度の申請受け付けが八月から始まった。個別通知すべきと思うが、市長の所見を伺う。



薬物乱用防止キャラバンカー
(財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター)

万全を期す

市長 二十年度は、八月と三月に通知したが、今年度は、十二月にも通知する予定。

市として、ケアプランのチェック、連携ノートの作成を指導している。モニタリングシステムの導入については、国保連合会との連携、実施体制の確保等を含め検討課題としたい。

世帯内の被保険者全員が支払った医療保険・介護保険の自己負担額が、基準を超えた金額を支給する制度。申告もれの防止の観点から、広報での告知だけでなく、十二月中旬、支給対象者に通知する予定。

脳脊髄液減少症への適切な対応を

問 脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷がもとで、頭痛や吐き気等の症状が引き起こされる。学校関係者の理解、児童生徒への適切な対応が求められる。

周知に努める

教育長 文科省は十九年五月の通知で、スポーツ等の後遺症への適切な対応の中で、脳脊髄液減少症の周知と配慮を求めている。県教委も体育主任の会や研修等で周知している。九月は運動会の練習等で事故が起きやすい時期でもあり、市としても学校長に脳脊髄液減少症への理解を求め、適切な指導をお願いした。

ヒブワクチンの定期接種化を

問 細菌性髄膜炎の多くはヒブ菌が原因で、乳幼児が罹患する。九〇力国以上でヒブワクチンの定

ヒブワクチンとは？

ヒブ感染による乳幼児の細菌性髄膜炎を防ぐためのワクチン。乳幼児の細菌性髄膜炎の約6割がヒブによるもので、罹患すると5パーセントが死亡、25パーセントに重度の後遺症が残る。

欧米では1980年代後半に導入されていたが、日本では2007年に認可され、翌年12月から接種が可能となった。

WHOはヒブワクチンを定期接種とするよう推奨しているが、日本では任意接種となっている。

期接種が行われている。日本では任意接種のため、三万円前後の費用がかかる市として助成措置を講じられないか。

現段階では助成はできない

市長 ヒブワクチンはフランスで製造されており、出荷に二〇力月、日本国内で輸入手続きや品質検査にさらに五力月かかる。国内では不足がみで、確保が難しい。厚労省の検討会によると、安全性、有効性の治験を収集する段階。副作用の障害に対しても国の補償制度がないため、現状では助成の対象とは考えていない。

市の観光基本計画を問う

民主クラブ



関 敦隆 議員

関議員 観光振興基本計画を実現するための具体策を伺う。

観光資源の乏しい中央市にとって、一番の資源は何だと考えているか。観光PRの具体策は、グリーンツーリズムなど、都市・農村交流の具体策は、NPO法人、市民の参加は、交流人口拡大の具体策は、観光資源の保護・保全策は、

集客数減少の原因は、生産者の高齢化に伴う農産物の確保の計画は、

二十四年度までに、観光客二〇%増の計画を立てているが、見通しは、地域コーディネーターの役割は、

滞在型市民農園の推進の今後の予定は、ホスピ

タリティーの向上と、ボランティアガイドの充実は、観光バス等の受け入れ態勢が整っていない。た・からの駐車場の拡張、整備を。

農業との連携で観光振興を図る

市長 中央市は自然環境に恵まれ、県内有数の野菜生産地。トマト、きゅうり、スイートコーン、なす等県内外に誇れる農産物が多く、これを支える人たちが最大の資源だ。



直売所甲子園でグラウンドチャンピオンに輝いた「道の駅とよみ」



順調に集客数を伸ばしている農産物直売所「た・から」

新鮮で安全な農産物、畜産物を提供し続けることによる、口コミ戦略、メディアを活用した効果的な情報発信の展開が、根強いPR方法と考えている。市の魅力を都会へ売り込むとともに、た・からや道の駅とよみを中心とした交流を周年実施したい。パブリックコメント制度や女性の声を活かし、行政指導型でなく、市民参加型を推進する。全都市ランキングで、住み良さ四四位、利便度四位の潜在力を全面に打ち

出し、誘客に努める。市内三四の文化財の所有者への報償金支給等の保護策をとっている。千本桜は地元大鳥居自治会の協力を得て、毎年、五〇本ずつ植栽している。た・からとシルクふれんどりいは増加傾向だが道の駅とよみは集客数が減っている。原因は高齢化による農産物の減少か。NPO法人や新規就農者の確保、協力を図りたい。十八年度までの増加率五%を目標に、二十一年度から二十四年度の四年

間で二〇%増を目指す。三施設合計で、年間の集客数三万人増を達成したい。都市と本市の縁結び役が地域コーディネーターの役割。シルクフラワーブクリの指導員、つむぎ織りの指導員、郷土料理指導者の三名が活躍している。新たな体験交流、商品開発等の企画・立案や情報発信を担う人材を増員したい。

滞在型市民農園は民間の協力を得ながら、実施可能な圃場の確保に努める。やまなし観光推進機構が推進する研修会等に、指定管理者の職員等の積極的な参加を促し、ボランティアガイドの充実、おもてなしの心の向上を進める。

田富庁舎周辺は、農業振興地域整備計画の農用地区域であり、宅地化や駐車場への一時転用が困難だったが、昨年度、除外申請を行い、今年五月に県の同意を得た。厳しい財政下ではあるが、駐車場用地確保に向け努力したい。

一般質問

2 議員が登壇

九月定例会では二人の議員が一般質問に立ち、三項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。詳細は市ホームページの議会会議録をご覧ください。

9月定例会

Q 市政について問う



長沼辰幸 議員

長沼議員 地方分権の推進について、道州制を含め論議が激しくなってきた。市政の継続性の観点から市長の所見を伺う。西通り線整備事業の進捗状況と課題は、側溝移動

交差路拡幅等について、地域住民とコミュニケーションが図られているか。子育て支援と連動した行政による結婚相談を。けがの防止や砂埃防止ヒートアイランド対策にもなる保育園の園庭の芝生化を。入札制度改革の試行結

A 質と量の両面から入札制度を見直す

市長 地方分権の推進を踏まえ、市の自主的判断と責任において決定できるよう、政策立案能力等を備えた人材育成を行うとともに、行政の整備・充実を図っていく。二月四日、事業計画の説明会を実施。道路詳細設計、用地調査を行って

いる。路線の詳細等の確定後、再度説明会を設け、二十二年の夏ごろから用地交渉の予定。子育て支援課を中心に、子育ての環境整備、不安解消に努めているが、少子化対策の一環として、結婚相談支援施策についても検討したい。

田富第三保育園は園庭の一部を芝生化してある。今年度実施している耐震診断の結果による改修の必要性等を勘案し、全部または一部の芝生化も含め検討する。



一部を芝生化した園庭（田富第三保育園）

財源の有効活用を目的として、昨年九月以降、二件の一般競争入札と三件の総合評価方式入札を試行した。施工中の現場状況は良好、完成後の評価は高く、落札率、価格も適正と認識している。指名入札に比べ、事務量の増加が課題だが、改善を図っていく。事後審査型一般競争入札の適用範囲を段階的に拡大し、総合評価方式の拡大についても、評価項目の追加や配点の見直し、加算点の割合の増加、適用範囲の拡大を図っていききたい。



河川環境の保全を

ほか1件



名執義高議員

と河川に散乱するごみの対策は、

名執議員 中央市内の河川の水質調査と水質汚濁防止の取り組みは、

家庭排水の問題を石鹸の普及を通し啓蒙活動を行うことについて。

水辺の楽校の維持管理

特定外来種の防除を。入れない、捨てない、拡げないの三原則の教育と実践を。

A 生活排水の適正化を図る

市長 市全体で五万所、

九月下旬から十二月上旬にかけて、毎年一回の河川水質検査を実施。全地点で大腸菌群数が環境基準を超えるなど、浄化槽の管理、適切な排水の指導が必要。

広報等を活用し、生活排水の適正化について市民に周知を図る。

年三回から四回、繁茂した雑草を刈っている。

一級河川を管理する県と協力し、今後は市民グループ、企業にも呼び掛けたい。

自然保護の観点から野

焼きをやめた経過があり、対応策を検討している。外来種の防除三原則の周知を図る。

Q 障害者自立支援策を問う

問 市内の障害者福祉施設への支援内容は、

今後、施設と協働して取り組み具体策は、

障害者授産施設の商品を福祉マークとして認証、推奨しては、

市の障害者雇用、受け入れ体制は、

保健士など専門職員の

配置を。

A 協働のネットワークで

市長 「ほつとらんにんぐ」と「ルヴァン」に送迎サービス費用の助成



常永川「川原の四季」観察会（常永川下流域）

を行っている。「あめぞら」の地域活動支援事業にも助成している。

協働のネットワークを構築し、継続的で多様な支援を行いたい。

今年度、障害者を対象とした職員採用試験の実施を計画している。

人材については当面、保健福祉部各課で連絡調整し、柔軟な対応をしていく。

教育長 現在、学校給食の食材を市内の福祉施設から購入している。今後連携を進めていく。

政治倫理

制定を決定

市民の奉仕者として
公正で民主的な市政発展に寄与

—中央市議会議員政治倫理規程—

▼制定までの経過

昨年九月、「議会が市民代表の議決機関としての責任と役割をより効果的に遂行するため、これまでの議会制度を再検討し、議会改革を推進する」ことを目的に、「議会改革推進委員会」を設置しました。

その間、十数回の委員会を開催し、平成二十一年九月二十九日の議員協議会で、倫理規定の制定を決定、議会訓令として即日公布・施行しました。

▼内容（抜粋）

（目的）
この規程は、市政が市民の厳粛な負託によるものであること

を認識し、市民全体の代表として、また、市民全体の奉仕者として

中央市議会議員が議員活動をするにあたり、人格と倫理の向上に努め、いやくもその地位の影響力を不正に行使して、自己の利便を図り、または市民に疑惑の念を生じさせることのないよう必要な措置を定め、常に良心に従い誠実かつ公正にその職務を行うべきことを促し、もって公正で民主的な市政の発展に寄与すること。

（議員の責務）

議員は、市民の信頼に値する倫理性を自覚し、自らの役割を認識し、その使命の達成に努め

なければならない。

（政治倫理基準）

1、市民全体の代表者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。

2、市民全体の奉仕者として常に人格と倫理の向上に努め、その地位を利用していかなる金品も授受しないこと。

3、市職員の公正な職務執行を妨げ、またはその権限もしくはその地位による影響力を不正に行使するよう働きかけないこと。

4、市職員の採用に関して推薦または紹介をしないこと。

5、市職員の昇格または異動に関して推薦または紹介をしないこと。

議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、疑惑の解明に努めるとともに、その責任を明らかにしなければならない。

これらは十一條から構成され、行為規範に反する疑いがあるときは、審査の請求および議員政治倫理審査会を設置し、議員辞職勧告まで行うことができる規程となっています。

常任委員会レポート

総務教育常任委員会

▼一般会計補正予算

(第2号)

総務課

問 福利厚生費として計上している産業医の委託内容は。

答 衛生管理規則に基づく職員の健康管理全般にわたるもの。

問 メンタルヘルスにも対応していくか。

答 対応していく。

問 産業医に比べて委託

料が低額では。

答 常勤ではない。医師との協議で単価を了解の上お願いした。

問 まゆの灯の改修費は、形状等に変更は。

答 電球を水銀灯から蛍光灯に付け替え。

問 コミュニティバスのラッピングは。

答 バスの車体全面を、市の特産品等でPR。

問 公共交通機関は規制等があるのでは。

答 確認済みである。

問 ICTモデル事業の成果や報告は、今後どう活用するのか。

答 健康推進課中心に事業を推進。

問 財政課

問 地方債補正の、金利見込額の計上は。

答 予算に計上したが、調査等の作成はしない。

問 政権交代で基金の凍結等が懸念される。

答 現在状況、動向等について鋭意調査中。

問 地域活性化・経済危機対策交付金等は。

答 現段階で通達ない。

問 管財課

問 庁舎トイレは、障害者雇用も視野にあるか。

答 来庁者の要望による改修、職員も使用する。障害者の雇用も公共施設全体を含め考慮。

問 市民バスの乗車定員は。

答 四〇人乗り。

問 省エネバスは。

答 ハイブリッド車等は倍以上の価格、国交省認定の低公害車を購入。

問 購入先の選定は。

答 メーカー、販売店等



市の特産品をラッピングしたコミュニティ・バス

が限られる。プロポーザルによる選定を検討。

問 バスは各旧町村にあるのか。

答 田富一台、玉穂二台、豊富は社協のバス二台

問 教育総務課

問 電子黒板は小・中学校でレベルが異なるか。

答 プロジェクター方式とデジタルTV方式。ソフ

問 フトは電子黒板自体に装備されているが、学年により異なる。安全性、金額等を考慮し購入。

問 ソフトに頼りすぎる心配は。

答 各学校に一台設置。教員も使用方法を習得

問 リースで機種等を変更する方法は。

答 購入が原則。パソコンはリースも交付金対象だが、一年間に限定。

問 割られたガラスを強化ガラスに変更は。

答 元来強化ガラス。応急に普通ガラスで対応。

問 太陽光発電設備整備の三校の予算額は。

答 出力二〇kw、二、六〇〇万円程度。屋根の防水工事も予算化。

問 太陽光発電整備は経済対策事業。学校から家庭への普及等考慮は。

答 校内で発電量状況表示を行うシステムで、環境、エコ、節電等を家庭へも啓発する。

問 生涯教育課

問 今回のシステム整備は、田富図書館と生涯学習館だけか。

答 二館のシステムの統一。

問 特化した資料の購入等、利用者のニーズ等も把握できるか。

答 市内の利用者は把握できる。システム構築の仕様書作成を更に検討する。

問 図書に関するイベント周知を上手にしてほしい、システムにも取り入れては。

答 田富図書館、生涯学習館とも選書の専門職員を配置し、特色ある図書館づくりをしている。

問 説明板・看板は、地域特色を生かし作成を。

答 豊富資料館に設置予定のマネキンに配慮を。

問 マネキンは専門業者と協議し検討する。

問 厚生常任委員会

問 ひとり親家庭医療費助成金支給条例改正

問 年齢引き上げに伴う支給対象者の増数は。

答 入院時の食事療養費が四月から二名、金額で五千円強。

問 一般会計補正予算

問 国民健康保険特別会計

問 療養給付費負担金と前期高齢者交付金の関係は。

答 前期高齢者交付金を除き三四％。



早期発見・治療から発症予防のための健康支援事業（玉穂総合会館）

産業土木常任委員会

▼一般会計補正予算 (第2号)

農政課

問 林業総務費の負担金の説明を。

答 全国森林環境税創出促進連盟の新規加入負担金二万円。

問 補正予算計上事業は交付金事業等なければ実施できないか。

答 地域要望箇所から、交付金対象事業をピックアップ。

商工観光課

問 緊急雇用創出事業期間は半年間か。期間終了後は、雇用先は。

答 三年間の事業。来年度も要望があれば新規、継続実施する。

問 案内表示板の取替工事の説明を。

答 旧町村名の大型案内板を四力所。他は精査し検討する。

都市計画課

問 JR東花輪駅前整備事業は、家屋移転時、曳き家と再築でどちらが高額か。

答 取り壊して新築する

再築が高額。

問 東花輪駅前用地購入は、JRの申し出か。

答 JRの要請。駅周辺整備は、他市町でも用地購入している。

建設課

問 清川改修工事の状況は。

答 準用河川分は残り一〇〇m。今年度六〇m、来年度以降四〇m予定。

問 地籍調査の状況は。

答 宇坪川周辺地区地元説明会を十月に予定、境界杭設置、来年度一筆調査実施予定。

**▼簡易水道事業特別会計
(第2号)**

問 使用量収入増加の説明を。

答 月額二七万円から九〇万円に増収。食品工業団地は中道、豊富地区から給水。中道の料金値上げで、豊富地区の供給量増加と考える。

問 同一企業に複数の水道供給でいいのか。

答 食品工業団地全体の受水槽が設置。一旦貯水

問 塩素濃度の規定は。

答 本市は最低〇・一、

原水取水方法で異なる。

**▼下水道事業特別会計
(第2号)**

問 市債増額の要因は。

答 経済対策補助事業の増加。

**▼土地区画整理事業特別会計
(第2号)**

問 保留地の状況は。

答 一〇一区画の内、六七区画を売却、残り三四区画。

**▼上水道事業会計
(第2号)**

問 宮本踏切ボーリング調査の説明を。

答 地下配水管敷設をJR東海と協議、調査するもの。

決算特別委員会

▼一般会計歳入歳出決算 認定

問 後期高齢者医療制度システム改修は、制度廃止の場合の対処は。

答 改正等の情報なく現段階では未定。

問 消防団出動手当が延べ一万数千回あるが、出勤人員が。手当は一回いくらか。

答 団員一回の出動で五〇〇円。

問 水防訓練の支出、物資等の備蓄は。

答 水防訓練時に調達したものを備蓄。

問 最低賃金の、臨時職員の待遇は。

答 取扱要綱で職種別に日額で定め、雇用保険、厚生年金、社会保険等の共済費も計上する。

政策秘書課

問 男女共同参画委員数が減少、活動に支障が出ている。委員を増やす予定は。

答 委員確保に苦慮したが、市委嘱の委員であり、増員する努力をする。

問 本市におけるふるさと納税の状況は。

答 昨年度三件、三十七万円、今年度はなし。昨年納税された方に礼状を出し、使い道等を報告。今後もHPで周知し、制度有効活用を図る。

財政課

問 公債費の利子対策と成果は。

答 借り替えて二億円の減額見込み、特別会計も実施。

問 公的資金補償金免除の繰上償還説明を。

答 六％利率の場合、繰上償還前に五％程度の補償金を支払い償還。

問 政権交代で基金の見直しや税収減が懸念される。対応は。

答 総務省等から情報が入っていない。対処体制を整える。

管財課

問 指定寄付金と一般寄付金の違いは。

答 使用目的指定と、そうでないものによる。

問 公共施設設置の自販機台数は。災害時に役立つ自販機設置は。

答 AED併設、非常時

無料等の自販機はあるが、本市は未設置で、従来方式が一八台設置。

教育総務課

問 笹南中学校の負担金の内容は。

答 人口割、均等割で甲府市七割、本市が三割。

問 モデル事業「遠くのまち豊かな体験活動事業」内容と今後は。

答 文科省所管の補助事業。田富南小児童が御前崎市等で、本市と違う環境の生活を三泊四日で体験。

問 準要保護生徒就学援助の対象者は。

答 小中学校で平成二十年度二二三人、二十一年度二二九人。

生涯教育課

問 体育施設使用料が増えている。田富南小に夜間照明施設を設置したことによるものか、また、利用状況は。

答 他の施設の利用による。今年度は最近使用頻度が増えた。

問 豊富資料館の公社委託料が増えているが。

答 平成十九年度は約二百円程度コストダウン、

▶ 昨年度から適正なランニングコストで委託。

問 体育指導委員にユニフォームを支給しているが、個々の団体の支援体制は。

答 平成二十年度は団体等の実績はない、統一チームに支援していく。

環境課

問 廃棄物運搬委託料の減は、ゴミ全体量が減ったのか。

答 指摘どおり。ゴミの量で前年比五・四％、金額で七％減。

問 不法投棄が減らない。家電リサイクル推進の市として対策は。

答 自動車は車体番号から特定。家電は法制化されていない。国の方策も注意し検討する。

問 自治会の報償金も減っているが。

答 自治会のリサイクルからの搬入が増加傾向にあるため。

問 再商品化業務委託の内容は。

答 豊富地区のペットボトル再処理委託。

問 後期高齢者医療制度

廃止の場合、会計もすぐなくなるのか。

答 制度改正はまだだが、老保会計に併設していくと考える。

問 後期高齢者医療制度スタート後の負担増減は

答 ほぼ横ばい。本人は一割負担。

高齢介護課

問 地域密着型拠点施設の全体施設に占める割合は。

答 概ね二分の一。

問 子育て支援課

答 公立保育園各園の園児数は。

答 二月現在、玉穂保育園が定数一八〇人に対し一六七人、田富第一が一八〇人に対し一四八人、田富第二、九〇人に対し八一人、田富第三、一七〇人に対し一二七人、田富北、八〇人に対し七五人、豊富が、一二〇人に対し九一人。

問 公立以外の放課後児童クラブ支援は。

答 二カ所に放課後児童健全育成事業補助金として支援。

問 建設課

答 緑の風景創造事業の

問 緑の風景創造事業の

具体的説明を。

答 農産物直売所「たから」前の歩道植栽整備。

問 中央道用地交換は。

答 旧玉穂町時代の登記誤りを今回更正。

農政課

問 れんげ祭りに花が咲かなかつたが、種は毎年同一か。

答 今年度は従前と異なるものを購入。

問 中山間地域整備事業の付帯工事と内容は。

答 豊富地区多目的公園の舗装工事とグラウンドの造成工事。

問 イノシシ等有害鳥獣対策は。

答 檻、資材に二〇万円、猟友会等に百万円補助。

問 松くい虫被害対策の内容は。

答 機械作業による薫蒸処理。

問 商工観光課

答 補助金要綱で条件付けされている市内在住者三割雇用の状況は。

状況、要因は。

答 年度末で約八千七百万円、要因は被保険者数と高額医療費の増。

問 後期高齢者医療特別会計決算認定

問 政権交代で制度廃止が予想される。対策は。

答 国・県の指導はない。

問 情報に注意し、市民に説明できるよう対応する。

問 国保、後期高齢者医療、老人保健の各会計が横ばいだが、市と市民の負担は増えたのか。

答 制度が異なっており一概に言えない。七五歳以上の負担は増。

問 ▼介護保険特別会計決算認定

問 要介護と健康な方の中間者への対応は。

答 特定高齢者の支援事業を実施。事業に携わる指導者の養成も行う。

問 指導者養成状況は。

答 十九年度から介護予防健康サポーター「元気会」を発足、受講した三人のボランティアが地域で活動。

問 認定基準の改正による状況は。

1号被保険者一二一人、2号被保険者一〇人。

問 ▼地域包括支援センター特別会計決算認定

問 居宅支援サービス費が増えた理由は。

答 支援センター業務が充実し、ケアプラン作成が増えたため。

問 支援センターは高齢介護課に置かれ、職員も他業務と兼務だ。独立し業務充実を図っては。

答 当面は現体制。社会福祉士の採用も予定し、充実させていく。

問 ▼土地区画整理事業特別会計決算認定

問 県外、東京方面に市の利便性等をPRし、分譲を図っては。

答 新聞広告は周知効果が大きい。首都圏からはHP、インターネットの問合せが多い。利便性を踏まえ事業展開する。

問 都市ガス新設の負担金支出の内容説明を。

答 南部の区画整理地域は、安価な都市ガスの供給区域で、事前協議で市が四〇％、東京ガス六〇％の割合で施工。

問 今年度の償還計画と

残る起償は。

答 償還は三、七五〇万円、保留地売却時に返還。

問 ▼水道事業特別会計決算認定

問 落雷対処の保険に加入したが、一般的に保険で対応できないか。

答 水道管に対する保険に加入、今回は機械設備に関連する保険加入。

問 原水の水質検査の実施状況は。

答 年間を通じ蛇口から一二回、原水から四回検査。HPで公表。

問 総括質疑

問 前年度決算を総括・認定するが、市は翌年度予算にどう反映するか。

答 当年度の決算額を的確に見込み、ヒアリングで精査を重ね編成。

問 減額となった決算は評価できる。各担当課は特色ある予算づくりと総括をしているか。

答 今議会終了後、新規事業のヒアリングを予定。担当部局、担当課で前年度決算、当年度予算を踏まえた予算編成を目指す。

市民の談話室



政権交代とジャーナリズム

リバーサイド第一 斉藤 賢一



八月の総選挙で民主党が大勝利、政権交代が現実のものとなった。連日民主党の政策や鳩山首相の活躍が紙面を賑わせている。

そんなとき、自民党の時代と違った新聞をはじめとするジャーナリズムの報道の仕方が、何か今までと違ったように感ずることが多い。たとえばダム建設である。群馬県のハツ場ダムや熊本県の川辺川ダムの建設中止の政府民主党の方針に対し、移転を強いられた地元が反対するのは理解できるが、その報道の姿勢である。

我が家は日本で最も販売数が多い全国紙を取っているが、そこで報道されるのはあたかもダム反対が問題のような視点での紙面が多い。他の新聞やマスコミも同様である。今まであれば箱物行政の象徴としてさんざん槍玉にあげてきたダム建設をである。

このことで感じることは、私たちはテレビ、新聞等のマスメディアを通じていろいろな情報が目や耳から入ってくるが、それをどういうふうに判断するかは、やはり個人の判断が大切なことと思われる。世の中の流れの中で冷静に判断できるかどうかである。

ともかく今は、新しい政治の動きを一市民として注視していきたい。

九月議会を傍聴して

新町第二 望月 秋男



私が議会に関心を持つようになったのは大切な私たちの財産（税金）がいかに有効活用されているかを知り、市政の公平・公正性を確認したかったからです。

議会は「行政に対するチェック機関」であり、議員一人一人の取り組みに関心を持ち、傍聴しています。

傍聴者はいつも五人程度で、市民の市政に対する意識の低さ無関心さには、がっかりさせられています。

このような状況下で行われる議会は盛り上がり、行政とのなれ合いとも取れるような答弁のやり取りが見られ、休憩時間中議員の会話の中では、「おれたちには関係ねえ質問ばかりで、眠くてしょうがねえや」などと、議員の言葉として聞くに堪えないような不謹慎な発言を聞くに及び、今回の代表質問中に質問以外のことを、行政の淡々とした答弁に議場に笑いが起こり、九月十一日の新聞では「前代未聞の珍事」と報道されたことにもつながりました。

皆さんは市の年間予算が一般会計のみで、市民一人当たり三十七万円になり、単純計算でできないため、あまり表に出てこない特別会計を合わせると、どのくらいになるか知りたくはありませんか。また、市債（借入金）、基金（積立金）と公債費（返済金）の増減も中央市の行くすえ、子弟に負担を掛けないために、知っておく必要を痛切に感じます。

編集後記

「ストップ温暖化 世界が動く」

九月十二日、COP15がコペンハーゲンで開催される。私の綴った情報をたどるとそれは十七年前、一九九二年のリオデジャネイロ地球サミットが始まりだった。

気候変動枠組条約が国際的な条約として決められ、この年から地球温暖化の危機を回避するため国際社会は、大きく変わり動き出した。

私たちのまち中央市でも、条例や政策等が議会で決定されると、市が大きく動く。議会だよりには、大きな転換点となる情報や変化が掲載されており、大切な出来事が綴られたファイルからは、中央市の歴史の足跡も垣間見える。

中央市が動く「その時」を刻む広報誌となるよう、委員一同每号心して取り組んでいきます。市民のみなさんに綴られていく情報として活かされるよう願っております。

「名執義高」

議会広報編集委員会

委員長 田中 一臣

副委員長 一瀬 明

委員 名執 義高

野中つね子 福田 清美

小池 満男